

小学校 道徳 答申

全体的特徴	
東京書籍	子どもたちの心を揺さぶる感動的な教材や、身近な話題で共感を呼ぶ教材、親しみのある定番読み物教材などを多く扱っている。価値に反する行動、価値を実現している行動の両方が描かれている教材が多いので、道徳的価値の実現に向かう考え方や、価値のよさを理解しやすく、自己を見つめやすいと思われる。巻頭において「気づく」「考える 話し合う」「ふり返る 見つめる」「生かす」といった学習の進め方や、「話し合いの約束」が示されており、言語活動の充実を図ることができる。多面的・多角的に考える工夫として、教材ごとに学習の手がかりが示されている。学習の振り返りで記録を積み重ねるページでは、発達の段階を考慮し無理のない内容となっている。字が大きく、挿絵やマーク等が全体的に明るい。
学校図書	子どもの興味・関心を高め、多様な価値観を深められる教材、実践例の豊富な定番・人気教材、スポーツやオリンピック・パラリンピックに関する教材などを多く扱っている。価値に反する行動、実現している行動の両方が含まれ、価値の把握をしやすいものが多い。自分で考える投げかけがされている教材や、これからの自分の生き方について考えさせられる教材がある。巻頭の「道徳の学習を始めよう」の中で、問題意識をもつこと、自分で考えること、話し合うこと等について示されており、言語活動の充実につながる。多面的・多角的に考える工夫として、「かんがえよう」「みつめよう」が設けられている。自らの考えを深めたり、整理したりするために、分冊「活動」に、考えを深めるための問いが用意されている。
教育出版	横浜を舞台にしたり題材にしたりした教材が複数ある。子どもたちが教材の理解を深め、考える手がかりになるように、挿絵を工夫している。道徳的諸価値を実体験を通して理解できるように、モラルスキルトレーニングが配置されている。日常でよく起こり得る問題について、これからどうしていけばいいのか考えるよう投げかけて、実生活で生かせることをねらいとしている。行為そのものが目的にならないようにする配慮が必要である。伝記や実話を多く扱っている。教材の終わりの「学びの手引き」に、話し合いの具体的な内容や自分の考えをまとめる活動が設けられており、言語活動の充実を図る工夫がされている。
光村図書出版	美しい描きおろしの挿絵や迫力ある写真で構成された教材などを扱い、児童の「学びたくなる意欲」を引き出せるよう工夫している。それぞれの教材は、主人公が価値を実現しているものが多く、読み物としては充実している。特に現代的な課題については、教材の後にコラムがついており、様々な方面から価値について考えることができるように配慮されている。巻頭のオリエンテーションで「話し合ってみよう」「演じて考えよう」など考えを深めていく方法について説明されている。文章中に空欄を設け、登場人物の台詞を考える場面や自分の考えや気持ちを書く場面が設けられ、言語活動の充実を図る工夫がされている。横浜の子どもたちがこれまで学習してきた国語の教科書と体裁が似ている。
日本文教出版	発達の段階に応じて、物語からドキュメンタリーまで、定番、新作を含め多様な教材が扱われている。生活と関連付けた教材を多く取り入れ、子どもたちが身近に感じることができる。自らの考えを深めたり、整理したりするために、「道徳の学び方」において「考える・深める」ための方法について説明されている。また、学年に応じて「話し合ってみよう」や「動いてみよう」が設けられ、問題解決的な学習や体験を取り入れた学習にすることができる。「話し合ってみよう」や「書いてみよう」という発問が設けられており、言語活動の充実を図る工夫がされている。別冊の「道徳ノート」は子どもたち自身の成長の記録となるが、書き込むスペースが多く、書くことに多くの時間を要する可能性がある。

<p>光文書院</p>	<p>扱っている教材は時代に即して、多岐に渡り、児童の興味をひくものが多い。発達の段階や実生活に応じた内容が多く、子どもたちが主体的に学ぶことができる教材が多くそろっている。結末が明記されていない教材があり、自分を振り返って考えるヒントになっている。文章が易しい教材が多く、発達の段階に応じて道徳的価値を理解できる内容になっている。巻頭の「道徳の時間は、こんな時間です」では、「問いをもつ」「考える」「話し合う」「まとめる」といった学習の流れや、話し合いをしながら自分の考えを深めることについて示されており、言語活動の充実を図る工夫がされている。縦書き・横書きの表記が混在していて文章の部分が長く、文字や挿絵が小さめである。</p>
<p>学研教育みらい</p>	<p>心に響き、生き方を深く考えさせるために、「問い」が生まれる新鮮な教材や、長く読み継がれてきた教材、スポーツ選手など今を生きる人や先人から学ぶ教材などを扱っている。児童が理解しやすい平易な文で書かれており、価値の分かりやすい教材が多い。巻頭の「道徳の学習が始まるよ」に「語り合い、考えを練ろう」が設けられ、見方を変える、話し合う、表現することについて示され、言語活動の充実を図ることができる。多面的・多角的に考える工夫として、「考えよう」「深めよう」「やってみよう」等が設けられている。A4版と大きいため、挿絵や字は大きく行間も広くて読みやすいが、児童によっては扱いにくく感じる可能性がある。</p>
<p>廣済堂あかつき</p>	<p>道徳教材として長く読み継がれてきたものや、心を揺さぶる名作、感動教材などを多く扱っており、読み物として充実している。教材の内容が深く、人間のよさが描かれているものが多いが、全体的に文章や説明が長くなっている。教材の内容が深いものでも、児童によっては難易度が高く感じてしまう可能性がある。巻頭の「道徳の時間はこんな時間」において、意見の伝え方、聞き方、話し合い方等について説明されており、言語活動の充実を図ることができる。分冊の道徳ノートでは、自己を振り返り、今の自分の見方・考え方を記録して、成長を実感することにつなげることができる。記述欄が多く、書くことに長い時間を要する可能性がある。</p>